


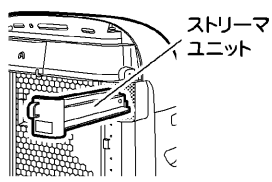

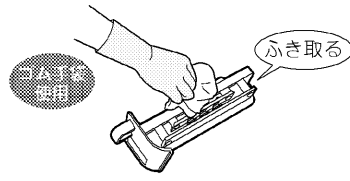
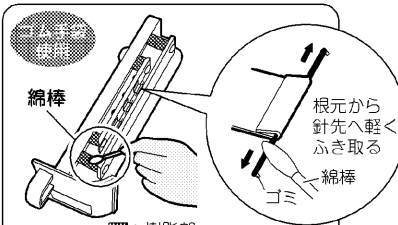
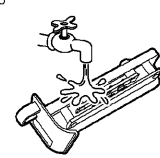
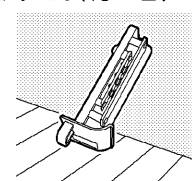
ストリーマユニットのお手入れ

お手入れのめやす	ユニット洗浄ランプが点灯したら  ユニット洗浄
お手入れのしかた	つけおき

汚れが気になる場合は、ユニット洗浄ランプが点灯していなくてもお手入れしてください。

⚠ 注意

ふき取りやこすり洗いの際は、**ゴム手袋**を使用してください。
ストリーマユニットの針で手を切るおそれがあります。

内容	注意点
<p>①前面パネルを開け、ストリーマユニットを引き出す。</p>  <p>ストリーマユニット</p>	
<p>②ぬるま湯または水につけおきする。(約1時間)</p>  <p>ぬるま湯・水 つけおき</p>	
<p>③布またはやわらかいブラシなどで汚れを落とす。</p> <p>ゴム手袋を併用してください。</p> <p>汚れを落とす</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 針にゴミが付着している場合は、綿棒などのやわらかいもので軽くふき取ってください。 ● 綿棒またはやわらかい布で内側の樹脂部(■部)の汚れを落としてください。 ● ネジを外さないでください。  <p>ふき取る</p>  <p>綿棒</p> <p>■: 樹脂部</p> <p>根元から針先へ軽くふき取る</p> <p>綿棒</p> <p>ゴミ</p> <p>針が変形すると脱臭能力が低下します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ストリーマユニットのネジを外さないでください。 ● 必ず浴室や台所のシンクなど、ぬれてもよい場所で行ってください。 ● 汚れがひどいときは、台所用洗剤などの液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。 ● 液体中性洗剤は洗剤の注意書きで決められた量で使用してください。 ● 粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、硬いタワシなどでこすらないでください。変形、破損、金属部のサビの原因になります。 ● ストリーマユニットの中の針が変形すると脱臭能力が低下します。
<p>④流水ですすぎ水気を切る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗剤が残っていると、お手入れ後もユニット洗浄ランプが消えないことがあります。また、金属部のサビの原因にもなりますので、十分に水洗いしてください。 ● 布などのせんいクズが残らないようにしてください。誤作動の原因になります。
<p>⑤風通しのよい日陰で乾燥する。(約1日)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光にあてると樹脂部が変色、変形することがあります。 ● 少しでも水分が残っていると、お手入れ後もユニット洗浄ランプが消えないことがありますので、日陰でよく乾かしてください。
<p>⑥ストリーマユニットを取り付ける。</p>	